

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

| | | | |
|-------|------------------------------|------|----------------|
| 受診施設名 | こぐま第二保育所 | 施設種別 | 保育所 (旧体系：) |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 きょうと福祉ネットワーク「一期一会」 | | |

平成27年12月23日

| | |
|-----|--|
| 総 評 | <p>社会福祉法人熊千代会は、平成19年4月こぐま上野保育園（京都市西京区・定員60名）から始まり、平成23年4月こぐま上野保育園分園（京都市西京区・定員30名）を開園し、平成26年4月こぐま保育園（京都市中京区・定員90名）開園と同時にこぐま第二保育所を、平成26年4月に京都市から民間委託を受け開所しました。</p> <p>こぐま第二保育所の立地としては、京都市内の閑静な住宅地の中にありますが、御所にも近く自然環境に恵まれている面も多く見受けられます。</p> <p>保育理念としては、乳幼児期という最も大切な時期に、子供たちにとって最善の環境を提供する保育を進め、「かながえるあたま、やさしいこころ、じょうぶなからだ」知育・徳育・体育のバランスのとれた保育を目指されています。</p> <p>「食育」には特に力を入れておられ、クッキング活動やお手伝い活動を実施していました。また、サツマイモやキュウリを栽培し、収穫野菜を食材として利用されています。そして基本的に「和給食」としています。ただ、「食育会議」や「食育便り」の取り組みもあるのですが、理念や目標には織り込まれていない点が惜しまれます。一方で、市立時代に作成された資料と民間委託された後の資料が混在している点が散見されました。例えば、理念や方針・目標が新入所児保護者説明会の「入所のしおり」と保護者会に配布した資料、また広報やHP掲載の文言が全て異なっている点があります。</p> <p>また、年齢別年間保育計画や「保育過程」が確認できませんでした。同時に「京都市営保育所・保育の計画」の内容の異なるものが2部存在したりしています。</p> <p>各種マニュアルについても市立時代のものを使用されており、見直しがされていません。このあたりの整備が早急に必要と思われます。これからも、地域の子育てステーションとして、子育てをする喜び、子ども達とかかわれる事の幸せを保護者の方にお伝えしながら、家族の不安や負担を少しでも解消し分かち合える子育て支援にも力を注いで行かれることを期待しております。</p> |
|-----|--|

| | |
|----------------------|---|
| <p>特に良かった点(※)</p> | <p>Ⅱ－３－（１）② 保育所の情報誌を行政関係及び関係機関、関係者に配布しています。地域子育てステーションとして、子育て相談を受けている。ネットでの情報発信に努めています。保育の出前講座を実施しています。</p> <p>Ⅲ－３－（１）① ホームページやフェイスブックなどで常に新しい情報を発信しています。パンフレットも見やすいものになっています。</p> <p>Ⅳ－１－（１）⑥ キュウリ、ピーマン、サツマイモを園児と共に園庭で作りと調理したものを昼食で提供しています。2歳児はクッキング活動を行っています。</p> |
| <p>特に改善が望まれる点(※)</p> | <p>Ⅰ－２－（２）① 保育所の保育の方針や目標に基づき、保育所生活の全体を通して、総合的に展開されるよう編成された保育過程が策定されていませんでした。</p> <p>Ⅱ－２－（４） 実習生の受け入れマニュアルは作成していますが、実習指導者に対する研修はしていませんでした。実習生のプログラムが用意されていませんでした。</p> <p>Ⅲ－１（１）、Ⅳ－３（１） プライバシー保護や虐待に関するマニュアルが策定されていませんでした。また、衛生管理、食中毒、緊急時対応、不審者侵入時のマニュアルが見直しされていませんでした。</p> |

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

| | |
|-------|--------------------|
| 受診施設名 | こぐま第二保育所 |
| 施設種別 | 保育所 |
| 評価機関名 | きょうと福祉ネットワーク「一期一会」 |
| 訪問調査日 | 2015. 10. 23 |

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|-----------------------|-------------------------------------|--|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| I-1 保育の理念・基本方針・目標 | I-1-1(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。 | ① 保育の理念が明文化されている。 | A | B |
| | | ② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。 | A | B |
| | I-1-1(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。 | ① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。 | A | B |
| | | ② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。 | A | B |
| I-2 計画の策定 | I-2-2(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 | ① 中・長期計画が策定されている。(非該当) | A | |
| | I-2-2(2) 保育の計画が適切に策定されている。 | ① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている | A | C |
| | | ② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。 | A | B |
| | | ③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。 | A | B |
| | | ④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。 | A | B |
| | ⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。 | A | B | |
| I-3 管理者の責任とリーダーシップ | I-3-1(1) 管理者の責任が明確にされている。 | ① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。 | A | B |
| | | ② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。 | A | B |
| | I-3-1(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。 | ① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。 | A | B |
| | | ② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。 | A | A |

[自由記述欄]

| | |
|----------|--|
| I-1-1(1) | ①保育の理念は明文化されているが、複数存在し、統一されていない。 ②保育理念、保育方針、各クラスの目標が明文化されている。保育の計画の冊子に明記されているが、入所のしおりとホームページにも記載されているものが異なっている。 |
| I-1-1(2) | ①理念や方針・目標がH27.3月に新入所児保護者説明会の「入所のしおり」とH27.4月保護者会に配布した資料、また広報やHP掲載の文言が全て異なっている。 ②理念や方針・目標がH27.3月に新入所児保護者説明会の「入所のしおり」とH27.4月保護者会に配布した資料、また広報やHP掲載の文言が全て異なっている。 |
| I-2-2(1) | (非該当) |
| I-2-2(2) | ①保育課程が確認出来なかった。 ②「京都市営保育所保育の計画」に基づいて保育計画を作成しているが、園の保育課程に基づいていない。 ③年間保育計画を作成し、月ごとの保育計画が作成され、評価をもとに次の計画に活かされているが保育課程に基づいていない。 ④指導計画は職員参画で作成されているが、保育課程に基づいていない。 ⑤指導計画は職員及び保護者には説明を行っているが、保育課程に基づいていない。 |
| I-3-1(1) | ①職務分担表にて管理者の役割が明文化されている。職員や保護者等から信頼を得ているかどうかを評価、見直しをするための方法が確立されていない。 ②管理者は関係法令について研鑽しているが、リスト化されていない。 |
| I-3-1(2) | ①管理者は積極的に現場に入り、保育士の意見を取り入れながら質の向上に努めている。課題の把握や改善方針についての組織的取り組みとはなっていない。 ②管理者と事務長が人事、財務の分析を行い、改善や効率化を図っている。 |

II 組織の運営管理

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|---------------------------------|--|--|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| II-1 経営状況の把握 | II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。 | ① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。 | A | A |
| II-2 人材の確保・養成 | II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。 | ① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。 | A | A |
| | II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。 | ① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。 | A | A |
| | | ② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。 | A | A |
| | II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 | ① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。 | A | A |
| | | ② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。 | A | B |
| | | ③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。 | A | B |
| II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。 | ① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。 | A | B | |
| | ② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。 | A | C | |
| II-3 地域との交流と連携 | II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。 | ① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。 | A | A |
| | | ② 事業所が有する機能を地域に還元している。 | A | A |
| | | ③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 | A | A |
| | II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。 | ① 必要な社会資源を明確にしている。 | A | B |
| [自由記述欄] | | | | |
| II-1-(1) | ①全国的な保育の動向については、関係誌や園長会の出席等で情報を収集している。 | | | |
| II-2-(1) | ①園児の人数によって採用計画を立てている。職員のヒヤリング等で職員の意向を把握している。 | | | |
| II-2-(2) | ①有給休暇の取得率や時間外勤務の把握は定期的にチェックしている。職員ヒヤリングを年に2回行っている。 | | | |
| | ②共済会に加盟している。 | | | |
| II-2-(3) | ①職員の教育、研鑽については基本姿勢が文書化されている。 | | | |
| | ②個別の職員の技能については把握しているが、個々の研修計画は策定していない。 | | | |
| | ③職員の研修後の報告はレポートを作成し、必要に応じて伝達研修を行っている。研修後の評価分析はされていない。 | | | |
| II-2-(4) | ①実習生の受け入れマニュアルを作成している。実習指導者に対する研修はしていない。 | | | |
| | ②計画的に学べるためのプログラムは用意されていない。 | | | |
| II-3-(1) | ①地域に向けて「出前講座」を開催している。 | | | |
| | ②園の情報誌を行政関係及び関係機関、関係者に配布している。地域子育てステーションとして、子育て相談を受けている。ネットでの情報発信に努めている。 | | | |
| | ③ボランティアの受け入れマニュアルを作成している。必要な研修については始める前に行っている。 | | | |
| II-3-(2) | ①関係機関等のリストが作成されている。虐待通報等については、情報の周知が職員に十分されていない。 | | | |

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|---------------------|---|---|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス | Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。 | ① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。 | A | B |
| | Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。 | ① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。 | A | A |
| | | ② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。 | A | B |
| Ⅲ-2 サービスの質の確保 | Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。 | ① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。 | A | |
| | | ② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。 | A | C |
| | Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。 | ① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている | A | B |
| | | ② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。 | A | B |
| | | ③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。 | A | A |
| Ⅲ-3 サービスの開始・継続 | Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。 | ① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。 | A | A |
| | | ② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。 | A | A |
| | Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。 | ① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。 | A | B |
| [自由記述欄] | | | | |
| Ⅲ-1-(1) | ①排泄や着替えなどのプライバシーに配慮した丁寧な保育を心掛けるよう実践しているとのことであったが、プライバシーに関するマニュアルがない。 | | | |
| Ⅲ-1-(2) | ①苦情解決のシステムを整備している。第三者委員を設置している。 ②保護者からの意見については、園長が把握し迅速に対応している。手順等については明文化されていない。 | | | |
| Ⅲ-2-(1) | ①非該当 ②定期的な自己評価はしていない。 | | | |
| Ⅲ-2-(2) | ①入所時に定められた様式を用いてアセスメントを実施している。手順が定められていない。 ②運営規定に園児の記録に関する保存の規定があるが、記録管理の責任者が明文化されていない。 ③朝の職員ミーティングにて、園児に関する迅速な情報交換をしている。 | | | |
| Ⅲ-3-(1) | ①ホームページやフェイスブックで情報発信をしている。パンフレットも見やすいものになっている。 ②入所時には「入所のしおり」を用いて入所説明会を実施している。 | | | |
| Ⅲ-3-(2) | ①京都市保育所児童要録にて退園時の資料としている。担当者が設置されていない。 | | | |

IV-1 子どもの発達援助

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|------------------|------------------|--|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| IV-1 子どもの発達援助 | IV-1-(1) 健康管理・食事 | ① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している | A | B |
| | | ② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている | A | A |
| | | ③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている | A | A |
| | | ④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している | A | B |
| | | ⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている | A | A |
| | | ⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている | A | A |
| | | ⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している | A | A |
| | | ⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている | A | A |
| | IV-1-(2) 保育環境 | ① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している | A | A |
| | | ② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている | A | A |
| | IV-1-(3) 保育内容 | ① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている | A | A |
| | | ② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している | A | A |
| | | ③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている | A | A |
| | | ④ 身近な自然や社会とかがわられるような取り組みがなされている | A | A |
| | | ⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている | A | A |
| | | ⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している | A | A |
| | | ⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している | A | B |
| | | ⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している | A | A |
| | | ⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる | A | A |
| | | ⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる | A | A |
| | | ⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる | A | B |

[自由記述欄]

| | |
|----------|---|
| IV-1-(1) | <p>①健康管理の情報は個々の児童の健康管理簿にて把握している。健康管理に対するマニュアルがない。</p> <p>②毎月1回嘱託医による健康診断を行っている。その結果については、職員間で周知している。</p> <p>③歯科健診の結果について、保護者に伝えると共に職員間で周知している。</p> <p>④感染症に関するマニュアルが設置されている。職員に対する研修は実施していない。</p> <p>⑤キュウリ、ピーマン、サツマイモを園児と共に園庭で作り、調理したものを昼食で提供している。2歳児はクッキング活動を行っている。</p> <p>⑥調理師が各クラスの喫食状況を把握し、調理形態や切り方などの工夫している。給食に関する会議を定期的開催している。</p> <p>⑦献立表、給食だよりを保護者に配布して、食育に対する意識向上を図っている。給食のサンプルを展示している。</p> <p>⑧食物アレルギーに関する情報を積極的に取り、対応を行っている。</p> |
|----------|---|

| | |
|----------|--|
| IV-1-(2) | <p>①コットンベットを午睡時に使用している。清掃、換気、採光については常に気を遣っている。</p> <p>②「ほっこりひろば」のコーナーをつくり、読書やゆっくりできる場を作っている。唱歌などの穏やかな音楽を意識して使用している。散歩には御所を利用することが多い。</p> |
| IV-1-(3) | <p>①園児に対する保育士の言葉遣いについて指導を徹底している。</p> <p>②トイレや食事の時間を強要することはない。園での生活では保育士の丁寧な関わりについて、マニュアルを元を実施している。</p> <p>③子どもの発達段階にそった玩具を提供している。</p> <p>④散歩先では季節を感じられる植物の採集などを行っている。</p> <p>⑤体操やダンス、リトミックを取り入れている。その際に参加をたくない子の無理強いはしない。</p> <p>⑥子ども同士のトラブルの場面では、丁寧な関わりを心がけている。</p> <p>⑦外国から来た園児や障害のある園児に対しては、保育士がさりげない配慮を行っている。権利擁護の研修は行っていない。</p> <p>⑧性差に関して先入観による固定的な意識を持つことが無いよう配慮をした保育を心がけている。</p> <p>⑨担当制をとり、園児ときめ細かい関わりをとれるように努めている。SLDSに関する知識を職員会議にて伝達し、周知している。</p> <p>⑩延長保育については、18時以降に手作りのおやつを提供している。</p> <p>⑪障害のない子どもの障害のある子どもへの関わりに対して配慮を行っている。環境、設備に対する物理的配慮はできていない。</p> |

IV-2 子育て支援

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|---------------|---|---|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| IV-2 子育て支援 | IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援 | ① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている | A | A |
| | | ② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている | A | A |
| | | ③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている | A | B |
| | | ④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている | A | B |
| | | ⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている | A | A |
| | | ⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。 | A | A |
| | IV-2-(2) 一時保育 | ① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている | A | A |
| [自由記述欄] | | | | |
| IV-2-(1) | ①新入園児は家庭訪問を必ず実施している。個人面談を全員に実施している。 ②家庭訪問時は記録のフォームを利用し、職員によってばらつきが生じないようにしている。連絡帳を利用して保護者との情報交換を密に行っている。 ③クラス懇談会を年に2回～3回実施している。懇談会の内容についての記録が不十分となっている。 ④京都市からの児童虐待マニュアルを職員全員に配布して周知している。児童虐待の研修は行っていない。 ⑤虐待の疑われる児童については、児童相談所に出席状況を報告している。 ⑥個人記録には発達状況、保育目的、生活状況が記載されている。 | | | |
| IV-2-(2) | ①一時保育用の保育室を確保している。保護者からの情報を様式により記録を行っている。 | | | |

IV-3 安全・事故防止

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|-----------------|---|---|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| IV-3 安全・事故防止 | (1) 安全・事故防止 | ① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている | A | B |
| | | ② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている | A | B |
| | | ③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている | A | A |
| | | ④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている | A | B |
| | | ⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている | A | B |
| [自由記述欄] | | | | |
| (1) 安全・事故防止 | ①個人衛生点検表、給食日誌点検表を用い、衛生管理に関するチェックを行っている。マニュアルの見直しと研修が実施されていない。 ②食中毒に関するマニュアルが整備されている。マニュアルの見直しが実施されていない。 ③安全対策マニュアルの整備、ヒヤリハットの収集は実施している。ヒヤリハットを集計し、対応の周知を行っている。 ④緊急対応マニュアルが整備されている。避難訓練、救急救命訓練が実施されている。マニュアルの見直しがされていない。 ⑤不審者侵入時マニュアルも市立時のを引用し整備されているが、研修や見直しはされていない。警察と連携した訓練は行っていない。 | | | |